

答えは解答用紙に記入しなさい。

以下の問題文を読み、設問（次ページに記載）に答えなさい。

ナッジとは、行動経済学者のリチャード・セイラーと法学者のキャス・サンステインの二人によって生み出された、一つの政策デザインである。彼らの二〇〇八年の共著 *Nudge*（邦題は『実践 行動経済学』）において、行動経済学の知見に基づいた新しい介入手法として提唱された（Thaler & Sunstein 2008）。

行動経済学の諸研究によって明らかになったのは、人間は必ずしも合理的に行動できるとは限らず、むしろその行動は状況によって大きく左右されるものである、ということであった。もちろん、人間は常に理想的な判断を下すことができるわけではないということ（もう少し丁寧に言えば、人間は与えられた情報を十分に検討し自分の目的にとって最善の行為を選択できるわけではないということ）は、以前からわかっていたことである。行動経済学の新しさは、人間が具体的にどのように判断を誤るのか、その逸脱の種類と傾向性を詳細に明らかにすることで、私たちの非合理的な行動のありかたを体系的に理解することを可能にした点にある。

体系的な理解ということが重要なポイントである。このことはしばしば錯視（いわゆる目の錯覚）になぞらえて論じられる。広く知られているように、錯視をもたらし不思議な絵や図を見たとき、そこに書かれている線の長さや色の濃さを、私たちは正確に認識できない。しかしながら、その状況では正確に認識できないのが当たり前である（錯視の存在を指摘され、実際に定規で測るなどして正しい理解を得たところで、錯視が消えるわけではない）。そして、錯視が引き起こされる状況は厳密に特定される（一定の条件が満たされた場合に錯視が生じるのであって、何の変哲もない風景に突然錯視が生じるということはない）。これは、認知の失敗が体系的なものであり、そのメカニズムが特定されうることを意味する。

同じことが非合理的な行動にも言える、というのが行動経済学の一つのポイントである。人間は特定の状況では非合理的に行動する方が当たり前であり、そしてそのような非合理性が発生する状況は実証的に特定しうる。このことがなぜ重要なのかといえば、それによって政策介入への応用の可能性が開かれるからである。人々が何を原因として・いつ・どのように非合理的な行動をとるのかが判明したならば、それらの知見をふまえて、非合理的な行動を避けるように人々の行動をうまく誘導することができると期待される。失敗が完全にランダムなのであれば対応は難しいが、失敗にもパターンがあるなら工夫次第で対処できるわけである。

（略）

このような考え方に基づいて生まれたのがナッジである。セイラーらは人々の選択を左右する外的条件に注目し、これを「選択アーキテクチャー」と呼ぶ。この選択アーキテクチャーを適切に設計することで、人々の行動変容を促すことができると彼らは考えた。すなわちナッジとは、「選択を禁じることも、経済的なインセンティブ⁽¹⁾を大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素を意味する」（Thaler & Sunstein 2008, 邦訳p.17）。

一例を挙げよう。私たちはレストランのメニュー表示において、すべての料理を検討せず、また考慮してしかるべき事情（ダイエット中である等）を考慮せずに、一番上のページにある油たっぷりの美味しそうな料理を即断で注文してしまうことがある。自分自身の利益にならないと自分でわかっている行為を選択してしまうという意味で、このような選択はたしかに非合理的である。しかしこの非合理性は、単にその人が個人的におかした間違いであるというよりも、同様の状況の下にあればかなりの人が同じように間違えるであろうものである（一番上にあるメニューをつい選んでしまうというのは、特に疲れているときなどは実にありがちなことである）。

すなわち、この非合理性は人々が共通に有する傾向性である。だとすれば、そのような傾向性を利用することで、より合理的な行為をするよう促すことが可能である。具体的には、たとえば野菜中心の食事をメニューの一番上に表示するにすることで、多くの人がそれを選ぶようになる、つまりは健康により良い選択へと促されることがわかっている（Downs et al. 2009）。このように、行動経済学の知見に基づいて選択がなされる状況に介入し、人々の行動を特定の方向にゆるやかに（強制なしに）誘導する政策手法が、ナッジと呼ばれるものである。

注（1）人々の意思決定や行動を変化させるような要因、報酬

令和7年度 金沢医科大学医学部入学者選抜試験問題
一般選抜（前期）【小論文】1日目

（2枚のうちの2）

答えは解答用紙に記入しなさい。

設問1. 問題文を200字以内で要約しなさい。

設問2. 下図のように地下鉄の駅の階段をピアノの鍵盤^{けんばん}のデザインにして音が出るようにしたことにより、エスカレーターよりも階段を選ぶ人が増えたという例がある。これが健康政策における「ナッジ」である理由を、本文の内容をふまえて200字以内で説明しなさい。



<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/policy/n-001.html>

[下書き用スペース]